

厚真町こども園つみき
園だより

1月号
令和6年12月27日
園長 井鳥 佳織



《保育理念》

「生きていく力を育む」

《保育目標》

- ・僕らの暮らし 「その人らしさ」「食」「自然との関り」を大切にします。
- ・僕らの思い 「おもいやり」「楽しい」を大切にします。
- ・僕らの挑戦 「一人ひとりのやりたい、やってみたい」「試行錯誤」を大切にします。

今年を振り返って

新年度が始まってから、気がつけば早9カ月が経とうとしていきます。4月～11月までの園だよりやクラスだよりを振り返ってみると、あんなこともこんなこともあったね！と様々な遊びや体験、試行錯誤、子ども達の表情や姿が思い起こされました。

特に私の思い出深い事は『うんとうごく会』です。子ども達を真ん中に保護者の方たちと一緒に遊び『楽しかったあ！』という満足感と高揚感は今でも忘れません。また、私自身が、こども×保護者×保育者という立ち位置を意識せず心の領域がフラットになっている感覚も心地よかったです。

少し話が変わりますが・・・人は1人で楽しみ、生活することは不可能ではありませんが、心が健康で豊かに生きていくとなると最終的には誰かと繋がり、関わり、支え合うことが不可欠なのではないかと私は思います。(1人の息抜きは必要ですが)そして、特にその関わり中の『楽しいね』『そうだね!』『大変だね』『大丈夫?』『〇〇って思ったんだね』などの温かい共感・心の通いは、人として生きている実感・肯定感を生んでいるのだと思います。

こども園は、様々な人との関わりが必要不可欠な環境です。だからこそ、暮らしの中に温かい心の通いや『うんとうごく会』のような熱い心の通いが大切だと思っています。そして、この思いは保育理念である『生きていく力を育む』に繋がります。

今年を振り返り、みなさん(こども・保護者・保育者)にはどんな温かい心の通いがあったでしょうか？残念な心の通いはあったでしょうか？みなさんの振り返りの中で、伝えたいことや気になることがありましたら、いつでもお知らせください。

そして来年は、子ども達や保護者の皆さんたちと今年よりもより多くの温かい・熱い心の通いを生むことができるよう職員一同心掛けていきたいと思っています。

今年も保護者の皆様、地域の方々に支えられた1年だったと感謝しています、ありがとうございました。

良いお年をお迎えください。



たくさんのプレゼントを
いただきました



三菱マテリアル様より

- *クリスマスツリーの木
- *お菓子
(クリスマス会のプレゼントとして配布しました。箱の色は5種類あります。)



北海道新聞藤井販売所
藤井様より

- *絵本20冊
(絵本は保育者が選びました。)



千歳ロータリークラブ様より

- *お菓子の詰め合わせ
(12月16日にサンタさんからいただいて、持ち帰りました。)

1月の予定



- 6日(月) 開庁(登園開始)・安全点検日
自園給食～14日
- 10日(金) 新年お正月会
- 14日(火) 体位測定～15日
- 21日(火) 避難訓練(地震)・巡回相談
- 23日(木) 環境整備ワークショップ～24日
- 27日(月) 入園説明会(新規のみ)